

佐賀県景気動向指数

令和2年10月30日
政策部統計分析課

1 令和2年8月の動向

- ◆ 先行指数 **90.0%** …… 10か月振りに50%を上回った。
- ◆ 一致指数 **28.6%** …… 9か月連続で50%を下回った。
- ◆ 遅行指数 **50.0%** …… 3か月連続で50%を下回った後、50%となった。

〈個別指標の動向〉

	+ となった指標		- となった指標		保ち合い(O)	
《先行系列》 採用系列数 10 拡張系列数 9.0 指数 90.0	所定外労働時間数 新規求人数 鉱工業生産指数(生産財) 乗用車新車登録台数 鉱工業在庫率(生産財・逆) 企業倒産件数(逆) 不渡手形金額(逆) 銀行貸出残高(☆) 手形交換金額(☆)	2か月連続 2か月連続 7か月振り 2か月連続 6か月振り 2か月振り 3か月連続 6か月連続 4か月振り	新設住宅着工戸数	3か月連続		
《一致系列》 採用系列数 7 拡張系列数 2.0 指数 28.6	鉱工業出荷指数(総合) 大型店売上高(☆)	9か月振り 3か月連続	有効求人倍率(就業地別) 就職率 鉱工業生産指数(総合) 着工建築物床面積(産業用) 輸入総額(唐津港+伊万里港)	10か月連続 6か月連続 5か月連続 2か月連続 2か月振り		
《遅行系列》 採用系列数 6 拡張系列数 3.0 指数 50.0	陶磁器生産重量 消費者物価指数(☆) 銀行預貸率	5か月振り 2か月連続 18か月振り	常用雇用指数 雇用保険受給実人員(逆) 鉱工業在庫指数(総合)	5か月振り 4か月連続 8か月振り		

(逆)は逆サイクルを示す。

(☆)は対前年同月比で、その他はセンサス局法により季節調整を行っている。

(注)・センサス局法X-12-ARIMAで季節調整をしている指標についてはデータを追加するたびに季節調整要因が変更されるため、
 遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。

・鉱工業指数など一部の指標は補正を行うことから、同様に遡及して数値が変わることがあります。

・有効求人倍率は、H26年5月分公表から遡及して、「一般職業紹介状況」(厚生労働省)より、「就業地別(季節調整値)」を使用しています。

(注)令和2年5月分において、基準年以降の全期間で季節調整替を行ったため、一部変化方向が変わっています。